

会議記録

年月日	令和6年1月19日(金) 14:00 から 16:15 まで	担当課	市民と共に考える課
会議名	令和5年度第2回 市民協働のまちづくり推進委員会	場所	水海道あすなろの里 学習棟
<p>《出席者》瀬高委員(2), 古矢委員(3), 中莖委員(2), 稲葉委員(新), 中荃委員(新), 坂入委員(新), 中山委員(2), 野村委員(新), 土河委員(3), 土田委員(新), 佐賀委員(新), 秋葉委員(2) 計12名</p> <p>《欠席者》坂巻委員, 貴志委員, 寺田委員 計3名</p> <p>《商工観光課》宮地商工観光室長, 富山AIまちづくり係長, 石塚主幹</p> <p>《事務局》文蔵課長, 下田尾課長補佐兼市民協働係長, 清水主任</p>			
<p>【内容】</p> <p>1 開 会 (14時00分)</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議 事</p> <p>(1) AIを活用したまちづくりの在り方について(商工観光課)</p> <p>宮地室長: AIについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AI とは何か ・AI の意義・活用 ・AI のデメリットとリスク <p>AI まちづくりの推進に関して説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常総市 AI まちづくり 10年構想 <p>新たな産業と雇用を創出し, 魅力・活力のあるまちへ</p> <ol style="list-style-type: none"> ①市民が AI に親しみを持つ ②市民が AI を積極的に活用する ③市民が AI をつくる <p>(2) グループワーク及び各班ごとに CiKoMa (サイコマ) 試乗</p> <p>(3) 委員から上がった意見(グループワーク後, 各テーブルごとに発表)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①中荃委員 人手の足りない事業としてゴミ問題, 道路の整備, 一人暮らしの高齢者の見守り, 空き家問題等があげられるが, そういった事業への AI の活用はできないか。また, 地域の継承文化を伝える手段としての活用も検討してもらいたい。CiKoMa (サイコマ) へ乗車したが, 危険予知システム等の技術開発が素晴らしい。 ②野村委員 AI は, 万能な技術ではないので, できること・できないことや得意・不得意な分野の分析が必要 常総市は, 農業のまちでもあるので, 野菜工場のように AI を活用するべき。介護的分野でいうと見守りを AI 活用する。 中学生に AI を活用した課題作成づくりを行わせてもいいのではないか。 ③中山委員 農業・学習・防災の3つの分野での意見が中心に出た。AI に頼りきりではなく補助として AI を活用するのがいいのではないか。 CiKoMa (サイコマ) に試乗したが, とても素晴らしい技術だと感じた。この技術をどう活用していくかが重要 <p>4 その他 文蔵課長: 委員報酬について説明</p> <p>5 閉 会 (16時15分)</p>			